**11 『高校生の心と体の健康に関する意識調査』**

次のグラフは、国立青少年教育推進機構がまとめた「高校生の心と体に関する意識調査報告書―日本・米国・中国・韓国の比較―」からの抜粋である。これをよく読んで、後の問いに答えよ。

【グラフ資料は「新傾向問題編　グラフ資料」フォルダ参照】

問1　【資料１】の説明として正しいものを次から選べ。（10点）

ア　どの国でも22時より前に寝ている高校生の割合は最も少ない。

イ　米国では約半数の高校生が０時までには就寝している。

ウ　韓国では約七割の高校生が０時以降に就寝している。

エ　日本の高校生は約七割が０時ごろに寝ていることがわかる。

〔　　〕

問2　【資料２】と【資料３】についての会話として誤っているのは誰か。次の中から一つ選び、アルファベットで答えよ。（10点）

Ａさん―　アメリカ人が一番ストレスを抱えていたなんて驚き。ほかの国と比べると、容姿や恋人のことでの悩みも多いみたい。

Ｂさん―　国によって違うんだね。日本と韓国は似ているけれど、親のことについては、日本が他国に比べ多いのに対して韓国は少ないんだね。

Ｃさん―　韓国は儒教道徳が生きている国だと習ったけど、それも影響しているのかな。中国はストレスがないという人も多いね。

Ｄさん―　どの国も勉強や進路、友人関係の悩みは共通しているんだね。中国では先生のことでのストレスが他国より少し多いよ。

Ｅさん―　アメリカは他国に比べお金や兄弟姉妹のことも多い。日本は目立って他国より多い項目はないのに、「その他」が多いのは気になる。

〔　　　〕

問3　【資料４】と【資料５】について、後の問い⑴・⑵に答えよ。

⑴　【資料４】と【資料５】から読み取れることとして正しいものを次から一つ選べ。（10点）

ア　どちらの図表も経年比較をしており、結果も同じ傾向にある。

イ　米国と中国の結果は類似しており、相関関係にあるといえる。

ウ　韓国では自己肯定感は高まっているが、努力への意欲は低い。

エ　米国ではいずれの質問にも否定的な回答が大きく増えている。

〔　　　〕

⑵　【資料４】から、「日本」についてわかることを二点挙げながら、解答欄に合うように六十字以内で説明せよ。（20点）

日本の高校生は、〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　  
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

ことがわかる。

【解答】

問1　ウ

問2　Ｂ

問3　⑴　ア

⑵　いまの自分に満足している割合が他の国に比べて低いが、二〇一〇年と二〇一七年を比べると、自己肯定感が大幅に高まっている（58字）（ことがわかる。）